

| 個 別 の 人 権 課 題 | | | アイヌの人々 | | |
|---------------|--------------|-----------------|-------------------|---|--|
| 校 種 | 小学校 | 本時に関わる 3つの側面 | 知 識 的 側 面 | ◎ | |
| 対 象 学 年 | 第6学年 | | 価 値 的 ・ 態 度 的 側 面 | ○ | |
| 教 科 等 | 社会 | | 技 能 的 側 面 | ○ | |
| 単 元 名 | わたしたちのくらしと憲法 | | | | |

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

日本国憲法と自分たちの生活との関わりについて関心をもち、政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることや国民生活には政治の働きが反映されていることを理解するとともに、日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関わりについて考察し、調べたことや考えたことを適切に表現することができる。

(2) 単元の計画

- 1次・・・日本国憲法の三大原則
- 2次・・・基本的人権の尊重（本時を含む）
- 3次・・・平和主義
- 4次・・・国民生活と日本国憲法

2 学習指導要領等の該当箇所

小学校学習指導要領・第2章・第2節社会・第2・第6学年

| |
|---|
| 2 内容 |
| <p>(2) 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。</p> <p>ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。</p> <p>イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。</p> |

3 本時の目標

未だに基本的人権の保障が十分ではない状況があることについて、アイヌの人々などの具体的な事例を通して理解するとともに、様々な伝統や文化が共生できる社会の実現に必要なことを考え、表現することができる。

4 人権教育との関わり

この単元では、日本国憲法と政治や国民生活との関わりについて学習する中で、個別の人権課題の一つである「アイヌの人々」に関連する内容を取り扱います。その際、先住民族であるアイヌの人々は独自の伝統や文化をもっていることについて理解するとともに、日本国憲法で保障されている基本的人権が全ての人に保障され、様々な伝統や文化が共生できる社会の実現が大切であることについて理解を深めることも大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

| | |
|-------------------|---|
| 知 識 的 側 面 | 人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 |
| 価 値 的 ・ 態 度 的 側 面 | 多様性に対する開かれた心と肯定的評価 社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度 |
| 技 能 的 側 面 | 他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 |

6 本時の学習過程

| 学習過程等 | 人権教育との関わり等 | 資料等 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した、日本国憲法で保障される基本的人権の種類と、新しく主張されるようになった基本的人権（プライバシー権、環境権、知る権利）を確認する。 ・自分たちが住んでいる県や市が作成した資料を見て、国や地方自治体の取組は日本国憲法の考え方に基づいて行われていることを確認する。 ・身体障害者スポーツ大会の開催（県の広報誌） ・市役所の施設のユニバーサルデザイン化（市役所広報誌）など <p>■学習活動</p> <p>【未だに基本的人権の保障が十分ではない状況はないか考えよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性に対する不利益な扱いや障害者に対する差別、外国人やアイヌの人々に対する差別や偏見等が社会の中に見られる。 <p>【課題】日本国憲法における基本的人権が全ての人に保障されるために大切なことは何か、アイヌの人々の事例を通して考えよう。</p> <p>■学習活動</p> <p>【資料を読み、アイヌの人々についての基本的なことを理解しよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々とは、北海道の先住民族であり、固有の言語、伝統的な儀式・祭事、独自の習慣などをもっている。 ・明治時代、政府は独自の言語や生活習慣を禁じ、日本語による教育を強制するなど、アイヌの人々の権利を制限する政策をとった。 ・アイヌの人々に対する理解が十分でなく、法的には等しく国民でありながら差別された歴史がある。 ・それぞれにもつ独自の文化や権利を尊重しながら共存していくことが大切である。 <p>■学習活動（グループ）</p> <p>【これからもこれらの基本的人権が保障されるために、私たちは何を大切にする必要があるか、グループで話し合ってみよう、発表しよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界には様々な人々が様々な場所で独自の伝統や文化を大切にしながら生きていることを知ることが大切である。 ・自分のことだけを考えるのではなく、他の人のことも尊重することが必要である。 ・全ての人の権利が保障されるよう、国や地方自治体に求めていくことが必要である。 <p>【まとめ】時代や社会の変化に応じて、基本的人権が常に全ての人に保障されているか、考えたり見直したりしていくことが大切である。</p> | <p>人権教育との関わり等</p> <p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々は、過去に土地を奪われたり、日本語を強制されたりするなど、生活の基盤や独自の文化を奪われた歴史があることを説明する。 <p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし自分が大切にしてきたものを、一方的に奪われたり壊されたりしたらどう感じるか考え、アイヌの人々の気持ちを想像させる。 <p>【価値的・態度的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性に対する開かれた心と肯定的評価 ・社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権を保持するためには、人権が守られているかを見直したり、守られるよう求めたりすることが必要であることに気付かせる。 | <p>資料等</p> <p>○公益財団法人アイヌ民族文化財団資料「アイヌ民族：歴史と現在」</p> <p>○広島県資料『『気づき』から『きずな』へ』</p> <p>○アイヌ文化振興法（教科書）</p> |